

学校教育目標 「豊かな人間性と確かな学力をもち、自ら伸びる子どもの育成」

やさしい子

かしこい子

たくましい子

達成度	達成値	評価	A ≥ 100	80 > C ≥ 60
	×100		100 > B ≥ 80	60 > D
	目標値			

	中期経営目標 【担当部】	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	評価方法	評価達成度	評価状況	中間評価 達成状況	改善策
【知】 確かな学力	主体的な学びの創造により学力の向上を図る。	基礎・基本の学力の確実な定着、向上を図る。	【学びの構えづくり】 ・学習規律、学習の準備を徹底させる。 【学びの基盤づくり】 ・算数の時間や「やるゾウタイム」に繰り返し計算練習やタブレットドリル等を行い、基礎学習を徹底させる。 ・読書タイム、家庭読書を充実させ、読書量を増やす。	・「つけておきたい学習規律、低中高学年のねらいを達成できた」肯定的評価70%以上にする。 ・三次市学力到達度検査において、全国平均+7点以上にする。 ・算数科単元末テスト80点以上の児童の割合を70%以上にする。 ・「本を読むのは楽しい」肯定的評価70%以上にする。	児童アンケート 三次市学力到達度検査 ・単元末テスト				
		自分で考え、深く学び、知識や技能を活用していく力を育てる。	・指導者が児童の学びをファシリテートする力の向上を図る。 ・単元のゴールを明確化し、児童がゴールに向けて自分で考え、解決できる授業づくりを行う。 ・自主学習を中心とした家庭学習の充実を図る。	・一人1回算数科の授業提案を行い、研究を深め授業づくりに生かす。 ・家庭学習や自主学習の取組を学期に1回異学年で交流する。 ・「以前に比べて自分の自主学習がかわった」肯定的評価を80%以上にする。	教職員アンケート 児童アンケート				
【徳】 豊かな心	規範意識、礼儀正しく節度ある言動、思いやりの心を身につけさせ、望ましい集団作りを進める。	自ら考え、判断・決断し、行動する自律心を育てる。	・児童に様々な場面でリーダーを経験させ、リーダーとしての自覚と責任を持たせる。 ・児童会活動、縦割り班活動の充実。	・毎学期、振り返りシートにおける、肯定的評価 ・リーダーとしての自覚と責任75%以上 ・委員会活動(5,6年生)70%以上 ・縦割り班活動80%以上にする。	児童アンケート				
		挨拶や言葉づかい等、場や相手に応じた態度と感謝の心を養う。	・友だちや上級生、下級生の良いところを認め、励まし合う活動を充実させる。 ・全職員が毅然とした対応を徹底する。	・毎学期、振り返りシートにおける、スマイルカードに関する肯定的評価を85%以上にする。 ・登校時や来客の方に対し、自分から進んで立ち止まって会釈してあいさつができる児童の割合を80%以上にする。	児童アンケート				
【体】 たくましい体	体力の向上と生活習慣の改善を図る。	児童の体力の向上を図る。	・体育科の授業や委員会等の取組による意欲的な体力づくりを行う。	・体づくりに関するアンケートの肯定的評価80%以上にする。	児童アンケート				
		健康な体をつくらうとする気持ちを育てる。	・「弁当の日」の取組を工夫し継続する。 ・メディアとの付き合い方についての指導や啓発活動を充実させる。	・生活リズムチェックで、メディアの使用時間自己目標を達成できた児童の割合を75%以上にする。	生活リズムチェック				
開かれた学校	信頼と協調に支えられた地域とともにある学校づくりを推進する。	積極的な情報発信を行い、保護者満足度の向上をめざす。	・HPや各種級通信などで情報を積極的に発信し、保護者と連携を深める。 ・学校の相談機能を充実する。(迅速で丁寧な組織的対応) ・業務改善の推進、職員のタイムマネジメント力の向上を図る。	・保護者の肯定的評価[3・4]を80%以上とする。 ・職員の超過勤務月45時間以内を80%にする。	保護者アンケート 入退校時間				
		地域とともにある学校づくりをさらに進める。	・地域の方と主体的な連携を深める。 ・コミュニティ・スクールに向け、小中連携して組織的に準備を進める。	・地域人材を活用した学習活動を仕組む。 ・コミュニティ・スクール発足に向けた準備会を3回以上開催する。	学習活動等の回数				